

## 2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221531075	公衆栄養学実習	小林 沙綾			1	必修	3前期

## 科目の概要

公衆栄養学実習では、地域住民の健康保持・増進を図ることを目的とし、栄養上の課題やニーズに応じた公衆栄養活動を行うためのマネジメントサイクルを修得する。具体的には、DP2・3に基づき、自立した社会人としてのスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を得た上で、地域集団を対象とした疾病・疾病予防・食育に関する専門的知識・技能を身に付け、公衆栄養プログラムを適切に計画・実施・評価・フィードバックするための手法を理解する。さらに、DP5に記載されている社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力、直観力、自然体を統合的に習得し、自立した社会人として地域の健康課題を解決しながら、DP4の通りに人々の日常生活を健康面から支援できる管理栄養士の育成を目指していく。

学修内容	到達目標
① 食生活・栄養状態の調査および評価 ② 既存資料の活用 ③ 公衆栄養プログラムの計画 ④ 公衆栄養プログラムの実施（プレゼンテーション） ⑤ 公衆栄養プログラムの評価	① 食生活・栄養状態の調査および評価について、事例をあげ（知識を活用する）ことができる。 ② 既存資料から、健康・栄養状況の課題を1つ以上読み取る（知識を活用する）ことができる。 ③ 対象集団を想定した公衆栄養プログラム案をグループで作成（獲得した知識を用いて解決）できる。 ④ 上記プログラムについて、他者に説明し実践（解決）できる。 ⑤ 公衆栄養プログラムの評価について説明（活用）できる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	到達目標の達成に必要なとなる知識の習得に向け、自発的に課題に取り組み、疑問点の解決につなげることができる。
	働きかけ力	
	実行力	より深い学びにつなげられるよう、自ら学習目標を立て、意欲的実習に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	実習内で生じた疑問点や課題の解決を目指し、自己学修により多くの知識の習得に励むことができる。
	計画力	
	創造力	実習内で学習した理論や現状をふまえ、自らのアイデアを付加した意見を考えることができる。
チームで働く力	発信力	実習内で提示した課題について、自らの考えを他者にも分かりやすい表現にまとめ、発信することができる。
	傾聴力	授業内容や他者の意見を丁寧に聞き、相手が伝えたい内容と自らの理解をすり合わせるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	取り組むべき課題の現状を把握し、グループのメンバーと協働することができる。
	規律性	授業に支障をきたさず行動はせず、指示されたルールを守ることができる。グループワークを多く実施するため、欠席しないように心がけ、周囲と協力して取り組むことができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：公衆栄養学実習ワークブック 東あかね・今枝奈保美（株式会社みらい）  
 参考書：①管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 公衆栄養学 公衆栄養活動の実践のための理論と展開 特定非営利活動法人日本栄養改善学会監修 / 酒井徹・由田克士 編（医歯薬出版）  
 ②わかりやすいEBNと栄養疫学 佐々木 敏 著（同文書院）  
 オープンエデュケーション：【津田塾大学ライティングセンター】レポートの書き方 <https://twc.tsuda.ac.jp/news/202007/20200708000000455.html>

## 他科目との関連、資格との関連

「公衆栄養学実習」は専門分野の公衆栄養学分野の科目の一部であり、「公衆栄養学I」をはじめとした科目で獲得した知識・技術を活用する。また、「公衆栄養学実習」は同時期に開講する「公衆栄養学II」と併せて学修することでより理解を深める。

資格との関連：栄養士、管理栄養士、栄養教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
内容は「公衆栄養学I」「公衆栄養学II」にて学習した内容を応用するものです。これまで学習した内容が記載された教科書やノートをぜひ活用して臨んでください。	実習は普通の座学とは異なり、グループワークが中心となります。これは自立した社会人を目指すためにも大切な経験となります。各自が責任を持ちつつも、楽しむ気持ちを持って実習に臨んでほしいと思います。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		<p>「評価基準表（ルーブリック）」を用いて、レポートを評価する。レポート作成に関する説明の際に「評価基準表（ルーブリック）」を掲示する。なお、提出期限までにレポートを提出しなかった場合は、当該評価配点は0点とする。</p> <p>【pisa型学力】獲得・活用・解決の評価割合は以下の通りとする。                      知識の獲得(食生活・栄養状態の調査および評価、既存資料、公衆栄養プログラムの知識)：10%                      知識の活用(食生活・栄養状態の調査および評価、既存資料から問題点を抽出できる)：45%                      知識の解決(抽出された問題点を解決するための具体案が提案できる)：45%</p> <p>相互評価を点数化し20点、教員の評価は20点の40点満点とする。なお、プレゼンテーションの相互評価は、他を評価し、他から評価されることにより、自班及び自己の優れた点と問題点をよく認識できることが目的である。評価項目については、プレゼンテーションの事前に発表する。</p> <p>【pisa型学力】獲得・活用・解決の評価割合は以下の通りとする。                      知識の獲得(食生活・栄養状態の調査および評価、既存資料、公衆栄養プログラムの知識)：10%                      知識の活用(食生活・栄養状態の調査および評価、既存資料から問題点を抽出できる)：45%                      知識の解決(抽出された問題点を解決するための具体案が提案できる)：45%</p> <p>(主体性)                      ・自発的に課題、予習、復習に取り組み、疑問点の解決につなげることができる。                      (実行力)                      ・自ら学習目標を立て、意欲的に実習に取り組むことができる。                      (課題発見力)                      ・実習内で生じた疑問点や課題の解決を目指し、より多くの知識の習得に励むことができる。                      (創造力)                      ・実習内で学習した理論や現状をふまえ、自らのアイデアを付加した意見を考えることができる。                      (発信力)                      ・自らの考えやアイデアを相手理解できる形で伝えることができる。                      (傾聴力)                      ・相手が伝えたい内容や自らの理解をすり合わせるすることができる。                      (状況把握力)                      ・現状の課題と展望について整理し、グループのメンバーと協働することができる。                      (規律性)                      ・ルール設定の意味を考え、適切に設定することができる。                      例) 6回以上の欠席は0(放棄)判定となるルールを守るなど。</p>
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	レポート	50	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
		⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
以下の基準を満たすものとする (S:5 項目、A:4 項目)。 ① 食生活・栄養状態の調査および評価について事例をあげることができる ② 既存資料から健康・栄養状況の課題が読み取ることができる ③ 対象集団を想定した公衆栄養プログラム案をグループで作成できる ④ 上記プログラムについて他者に説明できる ⑤ 公衆栄養プログラムの評価について、説明できる	以下の3 項目の基準を満たすものとする。 ① 食生活・栄養状態の調査および評価について事例をあげることができる ② 対象集団を想定した公衆栄養プログラム案をグループで作成できる ③ 上記プログラムについて他者に説明できる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 公衆栄養学実習の目的および進め方について学ぶ。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 公衆栄養学 I で学修した内容を確認し、本科目のシラバスを読んでおく。 (復習) グループで実習の流れを確認し、要点をまとめておく。	15	課題発見力 傾聴力
2	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析①」 食生活・栄養状態の調査を実施し、解析と評価コメントの作成を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 食事調査法の特徴を把握しておく。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	主体性 発信力 傾聴力
3	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析②」 食生活・栄養状態の調査を実施し、解析と評価コメントの作成を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 食事調査法の特徴を把握しておく。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	主体性 実行力 創造力
4	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析③」 食生活・栄養状態の調査を実施し、解析と評価コメントの作成を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 食事調査法の特徴を把握しておく。 公衆栄養活動に用いられる基礎的な分析手法を教科書で確認しておく。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	主体性 実行力 課題発見力 規律性
5	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析④」 食生活・栄養状態の調査を実施し、解析と評価コメントの作成を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 食事調査法の特徴を把握しておく。 公衆栄養活動に用いられる基礎的な分析手法を教科書で確認しておく。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析⑤」 食生活・栄養状態の調査を実施し、解析と評価コメントの作成を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 食事調査法の特徴を把握しておく。 公衆栄養活動に用いられる基礎的な分析手法を教科書で確認しておく。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	実行力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力
7	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析⑥」 既存資料を活用した地域診断を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 既存資料を検索し、興味のあるものをピックアップしておく。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	主体性 発信力 傾聴力
8	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析⑦」 既存資料を活用した地域診断を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 既存資料を検索し、興味のあるものをピックアップしておく。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	主体性 実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「公衆栄養プログラムの立案・媒体作成①」抽出された課題の解決に向けた事業計画の立案と目標設定を行う。発表に向け、実施内容の検討と指導媒体の作成を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	「公衆栄養プログラムの立案・媒体作成②」抽出された課題の解決に向けた事業計画の立案と目標設定を行う。発表に向け、実施内容の検討と指導媒体の作成を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力
11	「公衆栄養プログラムの立案・媒体作成③」抽出された課題の解決にむけた事業計画の立案と目標設定を行う。発表に向けて実施内容の検討と指導媒体の作成を行う。	講義と実習 グループワークとディスカッション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく。 (復習) 配布資料を確認し、発表の準備をする。	15	主体性 実行力 課題発見力
12	「公衆栄養プログラムの実施①」各事業計画の発表を実施する。	実習 グループワークとプレゼンテーション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) グループで発表の練習を行う。 (復習) 発表内容をふりかえり、指摘された点を理解しておく。	15	主体性 実行力 課題発見力
13	「公衆栄養プログラムの実施②」各事業計画の発表を実施する。	実習 グループワークとプレゼンテーション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) グループで発表の練習を行う。 (復習) 発表内容をふりかえり、指摘された点を理解しておく。	15	主体性 課題発見力 傾聴力
14	「公衆栄養プログラムの評価」実施した公衆栄養プログラムを評価し、意見交換することで公衆栄養プログラムの流れを理解する。	実習 グループワークとプレゼンテーション Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) グループごとの発表内容を振り返る。 公衆栄養マネジメントでの評価方法を実習書等で予習する。 (復習) 配布資料を確認し、次回の実習に備える。	15	主体性 課題発見力 傾聴力
15	「公衆栄養プログラムの評価内容の発表とまとめ」各班が実施した公衆栄養プログラムの評価結果の発表 公衆栄養プログラムの流れを体験したうえで、意見交換やふりかえりの発表を通じて、公衆栄養マネジメント理解の一助とする。	実習 グループワークとフィードバック Google Classroomによる資料の配布、課題の提出	実習出席後の実施内容を提出する。	(予習) これまでの実習をふりかえり、要点をまとめておく。 (復習) これまでの配布資料を確認し、内容の理解を深める。	15	主体性 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力